

議会だより ひらいずみ

第168号

令和2年8月1日

定例会6月会議

議会だよりひらいずみ 168号 発行/平泉町議会 編集/議会広報編集特別委員会 平泉町平泉字志羅山45-2 TEL 0191-34-5595 HP <https://www.town.hiraizumi.iwate.jp>

この町って、いいな!

ちょっと照れてる風希ちゃん(5歳)、ご機嫌な旺太君(1歳)。平泉に戻って5年になる、佐藤渉さん家族のほっこり笑顔をパチリ!



- 主な内容
- 新型コロナウイルス感染症
町は適正かつ迅速な対応を…… 2
- 定例会6月会議
宿泊業者へも支援を…… 6
- 一般質問
ここが聞きたい
8議員が町の考えを問う…… 9



シリーズ 頑張る人

子育て真っ最中



菊地秀広さん・真紀子さんと子ども達 (佐野9区)

真紀子さん

看護師の真紀子さんは、結真ちゃん(1歳)が半年待って4月から平泉保育所に入所することができ、仕事に復帰しました。「家の前の道路は交通量が多く、交通事故が心配です。近くに公園がほしい。」と話していました。

秀広さん

子ども達が大好きなパパは20代の頃から農業に従事、現在は借り受けた約15町歩の田んぼを耕作している専業農家です。もっと田んぼを増やしたいが「相手があることだから」と。若い農業者として、子ども達のために頑張ってほしいです。



真優ちゃん7歳・真乃ちゃん4歳・結真ちゃん1歳の仲よし3姉妹

あとかき

世界的なコロナショックの中、感染拡大を防ぐ、咳エチケットのマスクや手洗い、3つの密を避けることが新しい生活習慣となり、働き方も大きく変わろうとしています。それでも世の中は、人と

人との繋がりで成り立っています。心の距離まで離れないよう、意思疎通のコミュニケーションが大切だと思います。これまで以上の知恵と工夫が求められています。今回の編集にあたり、ご協力いただきました皆様、ありがとうございます。これからも、より

編集スタッフ

委員長	阿部圭一
副委員長	稲葉正
委員	大友仁子
委員	水室裕史
委員	升沢博子
委員	稲葉圭一

分かりやすい議会だよりを目指してまいりますので、よろしくお願いたします。

町民の皆様のご意見・ご要望をお待ちしています。
議会だよりは再生紙を使用しています

表紙の紹介

平泉駅前「カフェSATO」の店主の佐藤渉さんは埼玉県から5年前にUターン、実家で開業しました。

故郷に戻って感じたことは、平泉の空の高さ(こと)に感動しました。静かでのんびりとした、最高です。

平泉のいいところは

子ども達を長島保育所に送るときに渡る「高館橋」から見る北上川、東稲山の景観は素晴らしい。

平泉に戻ってよかった!

わが家のこと

「世界遺産」「平泉らしさ」とらわれないで、この町でいろんなジャンルの「事・こと」を始めたい。そうするともっと楽しく暮らせる町になるはずだから。



旺太君(1歳)とお母さんの明美さん。お隣に住む渉さんの両親に子育てを手伝ってもらっています。

新型コロナ ウイルス感染症

町は適正 かつ迅速な対応を

その他の意見

- ◆万全な感染対策は、事業所単独では不可能である。町全体として、万全な対策をもって「町内安全宣言」を出し、町外へ安全アピールを。
- ◆たべ・のり応援チケット（プレミアム商品券）の継続を。
- ◆短期的ではなく、長期的な視点で支援を。



観光協会 町要望 (概要)

1. 観光協会会費など各種負担金の支援
2. 事業者雇用確保並びに雇用維持の支援
3. 安定した事業継続のための資金面の支援
4. 伝統行事、イベントの今後の開催や維持への支援

商工会 町要望 (概要)

1. 事業継続を後押しするための追加支援
2. 飲食・宿泊事業者に限らないすべての業種に対する支援
3. 雇用者数や事業規模を考慮し、傾斜配分等の実態に応じた支援
4. 町内の経済活性化に向けた景気回復策の実施



新型コロナウイルス感染症対策特別委員会 (設置：令和2年5月19日)

委員長：高橋拓生
副委員長：氷室裕史
委員：議員全員

今回、両団体との懇談会を開催し、町内各事業者の危機的状況を改めて認識することができた。

コロナ禍にあっても、それに負けじと商工会・観光協会はこの危機的状況を乗り越え、アフターコロナを見据えた新しいビジネスプランを若者が中心となって検討するなど、事業者もこの事態に全力で立ち向かっていることもうかがえた。

議会としてもこの予断を許さない状況下に対し、適切な対応を町に働きかけていかなければならないと考える。

議会 現実的にコロナ収束後に観光客が100%の値まで戻るとは考えにくいと思われる。ただ収束を待つよりも早めのアクションを起こすべきと考えるが見解は。

観光協会 観光協会の会費が会員の負担になっており、現時点で半分の納入しかない。また、前年度収入額での支払いになる、消費税の支払いに苦慮している事業者が多い。

観光の形態も変わりつつある。来年の世界遺産10周年を見据え、アフターコロナを考えていかなければならない。GoToキャンペーンが始まるが、観光客の水際対策としての感染対策には費用も掛かる。そこにお金と労力をかけるべきである。



千葉力男観光協会長

議会 新しい生活様式に対応した観光モデルの構築についての考えはあるか。

観光協会 現状の観光モデルは大型バスに多くの観光客を乗せ、中尊寺を見てその日のうちに帰るいわゆる通過型である。団体客中心から平泉・東北の歴史を知りたい個人客中心の観光モデルへの転換も必要と考える。

議会 町内のほぼ全ての事業者が厳しい状況下にあると聞いている。現場の率直な声を聞きたい。

商工会 町内においてコロナ感染症による廃業はないが、現状が続けば時間の問題である。事業者は、持続化給付金をもらいながら今も被雇用者とその家族を支えていかなければならない気持ちで努力している。しかし町のサポートなしでは限界がある。



高橋幸喜商工会長

議会 今回の新型コロナウイルス感染症により事業者も既存の事業形態の転換を迫られるのではないかと。財政的支援だけに頼らない、新しい商工業の在り方を考えては。

商工会 従来から商工会は伴奏型の経営支援に取り組んでいる。この逆境をチャンスに変えようとやる気を持って新ビジネスプランを構想している若者もいる。しかし、補助金を使ってもそれなりに手持ちの負担が生じてしまう。今回のコロナ禍においては、その負担が若者の希望を掴むことにもなり得る。町にその支援をもらえれば大変心強い。商工会としても短期的な支援ではなく、長期的な支援で新ビジネスを構築できるよう、努力していく。

町議会は新型コロナウイルス感染症による住民生活及び地域経済への影響と対策を調査するため、特別委員会を設置しました。
6月17日に町民の生命・生活と地域経済を守るために取り組む項目を町へ要望し、7月9日には「観光協会・商工会・町議会懇談会」を開催し、予断を許さないコロナ禍において、町内事業者がどういった状況に置かれ、どのような支援を求めているのか事業者の生の声を聞きました。

懇談会

とき：7月9日(木)

ところ：平泉商工会

出席者：商工会長、副会長、事務局長
観光協会長、専務理事、事務局長
議員11名

町内事業者への支援はどうなっているの？

●融資制度に利子・保証料の補給

運転資金等の融資制度に利子、信用保証料の負担をなくし借入限度、返済猶予の拡大

●家賃の助成

売上げが50%減少した事業者に上限10万円を3か月間助成

●社会保険労務士による個別相談

事業者の給付金や助成金受給の取り組みの相談支援

●経営継続支援給付金

売上げが30%以上減少した事業者に10万円を給付

●飲食店等応援商品券

飲食・タクシー等で使える3千円の商品券を2千円で販売

菅原 和彦さん (樋の沢 8区)

町の声

語り部タクシーの乗務員をしています。コロナ感染対策による自粛のため、仕事も収入も激減しました。「平和の理想郷平泉」に、また多くの観光客が来ていただけるよう皆さんと頑張りたいです。



鈴木 耕介さん、利恵さん (大沢温泉旅館)

町の声

コロナで、観光の町、平泉が静かになりました。未だ世界規模で出口の見えない未曾有の危機に不安を覚えます。早期の収束を願い、いつもの日常ではない新たな日常へと変わると思いますが、我慢するところは我慢し、皆さんと足並みを揃え頑張っていきたいです。



子育て世帯への支援は？

●子育て世帯臨時特別給付金

令和2年4月分の児童手当受給者を対象に、令和2年3月31日までに生まれた児童に1人1万円を支給

●出産臨時特別給付金

4月28日から令和3年3月31日まで生まれた子どもに給付金を支給

阿部 瞳さん、紗也香さん 勇汰さん (花立 13区)

町の声

我が家ではコロナ対策として毎朝親子で検温する事、外出時のマスク、手洗い、うがいを継続しています。コロナに負けないよう家族で出来る事は取り組み頑張っていきたいと思えます。



農業者への支援は？

●肉用牛肥育農家の支援

国の支援9/10に町が残り1/10を補填

●肉用牛肥育素牛導入の支援

いわて平泉農協の補助金に1頭2万円を上乗せ交付

●肉用牛繁殖農家の支援

平均価格10%以上減少した牛に1頭当たり3万円を補助

コロナ対策で町民の暮らしを守れ

町の人から
ひと言

町民への支援は？

●特別定額給付金

町民（4月27日在住者）1人10万円を給付中（8月19日まで受け付け）

●就労希望者の雇用

就労環境の悪化による就労希望者を会計年度任用職員として町が4人を半年間雇用

●検診会場の感染防止対策

健診用サーキュレーター・マスク・消毒液の整備

●公共施設の感染防止対策

役場・文化遺産センター・図書館にサーマルカメラの設置及び児童クラブ、小中学校、幼保にマスク、体温計、消毒液等配置

●在宅寝たきり高齢者（介護度4・5）を介護している方

●障がい児福祉手当受給の方

●特別障がい者手当受給の方

●児童扶養手当を受給している方

●就学援助受給世帯に特別給付金

（年度途中の認定も受けられる）
1人目3万円・2人目2万円・3人目1万円を支給

●その他

図書館の蔵書の充実・税の申告期間延長に伴う作業のため臨時職員採用

山田 幸史さん、尚子さん あいらさん (鈴沢 12区)

町の声

当初、コロナウイルスの脅威がここまでとは正直思っていませんでした。すべての方が影響を受け、心配は子供の学校の事や商業等の経済的ダメージなど様々です。

世界遺産の町平泉を、より良くするために自分達ができる事をしっかり取り組んでいこうと思います。



百歳体操で元気です！

町の声

フェイスシールドをつけて百歳体操に参加の3区戸河内地区の皆さん。
筋力アップでコロナに負けるな。



プレミアム商品券 宿泊業者へも支援を!

議会定例会6月会議は6月10日から17日の8日間の会期で開かれました。一般質問には8人の議員が登壇し、直面する町政課題について町の考えをたしました。本会議では新型コロナウイルス感染症に係る国の緊急経済対策を含む補正予算及び条例の一部改正など、町提出の16議案、議員提出の5議案を慎重審議した結果、すべて原案どおり可決しました。

補正予算

議案第35号

宿泊業者への支援策は

- 問** 飲食業、タクシー支援のプレミアム商品券に、宿泊応援も加えるべきでは。
- 答** 次の補正で対応する予定である。
- 問** 困窮する事業者支援に緊急性とスピード感からも国の支援に加えて財政調整基金を使うべきでは。
- 答** 取り崩しは財政の全般的なバランスを見ながら、今後の町の方針を作り対応していく。



大好評につき
販売初日で完売した商品券

避難所運営にコロナ対策は

- 問** 災害に対応した避難所運営にコロナ感染予防の対策はあるか。
- 答** 基本的な感染予防対策を取る予定である。
- 問** 感染者が出た場合に隔離する施設の準備はあるか。
- 答** 町内の施設については現時点では考えていない。

地域課題対応の内訳は

- 問** 地域課題事業500万円の内訳は。
- 答** 宿、境田地内の水路改修と大沢地内の道路側溝工事、平石沢の河川の浚渫工事である。地域課題対応によるもので優先順位による4事業である。
- 問** 矢の尻川の土砂倒木堆積による過去の越水被害への対応は。
- 答** 河川浚渫に対応する起債を利用して、町内数か所ある対象河川の浚渫を行う予定である。

※浚渫(しゅんせつ)とは…水深を深くするために河床などの土砂を掘削すること。

人事案件

農業委員の任命同意 (任期：令和2年7月20日～令和5年7月19日)



- 石川文士良さん (字生江田) 再任
- 千葉 賢一さん (字八日講) 再任
- 千葉 力男さん (字志羅山) 再任
- 鈴木 正昭さん (字柳御所) 再任
- 千葉三智枝さん (字更の上) 再任
- 青木 慶さん (字泉屋) 再任
- 青木 長男さん (字赤羽根) 新任

※氏名(住所) 新任・再任別を記載しています。

農業委員の仕事は?

主に農業委員会の施策(農地等の利用の最適化の推進に関する施策など)や農地の権利移動に関する決定などを行います。平泉町農業委員の定員は7人です。

全員賛成
同意

財産の取得



H30に購入した
第4分団の消防ポンプ車

議案第35号

消防ポンプ自動車(第3分団)取得

契約相手方：株式会社古川ポンプ製作所
契約金額：1947万円
納入期限：令和3年3月26日

消防自動車更新の方針は?

- 答** 取得する消防ポンプ自動車は、28年経過した車両の更新である。14台ある消防ポンプ自動車は走行距離、車両の状況を判断しながら計画的に更新する。

全員賛成
可決

条例

議案第29号

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の改正

主な改正点

- 代替保育の提供元の緩和
- 居宅訪問型保育事業の利用対象者の拡大

制度の周知は十分か

- 答** 他市での利用者はある。令和2年度からの子ども子育て計画には記載ない。待機児童もいることから制度の周知を図りたい。

家庭的保育事業(事業類型と対象・人数)

小規模保育事業…0歳から2歳児まで・6人から19人以下
家庭的保育事業…0歳から2歳児まで・1人から5人まで
事業所内保育事業…事業所の従業員の子ども
(地域枠で一般の子どもの受入も可能)
居宅訪問型保育事業…保育を必要とする子どもの居宅において、1対1で行う

※平泉町における設置認可は現在ない



代替保育とは?

少人数を対象に、家庭的保育の下、きめ細かな保育を行います。保育者の居宅その他の場所で行います。事業主体は自治体のほか、民間団体(社会福祉法人、NPO法人など)、民間企業まで多様です。

■小規模保育事業…家庭的保育に近い環境で、子ども一人一人にきめ細かな保育を実施します。施設準備や認可までの期間がかからず、多様なスペースで新設園を開園できます。

■家庭的保育事業…家庭的な雰囲気の下で、少人数を対象にきめ細かな保育を実施する保育事業です。家庭的保育者(保育ママ)1人につき、3人の子どもまで預かることができます。施設としては、家庭的保育者の居宅その他のさまざまなスペースなどを利用することが認められています。

■事業所内保育事業…主な設置主体は事業所内で従業員のために保育施設を備えている企業です。設置場所も事業所やその他の様々なスペースと、園によってさまざまです。

■居宅訪問型保育事業…障害・疾患などで個別のケアが必要な場合や、施設がなくなった地域で保育を維持する必要がある場合などに、保護者の自宅を訪問して、1対1で保育を行います。

ここが聞きたい!

一般質問で
町の考えを問う

一般質問とは、議員が執行機関である町長などに対し、事業の状況や将来の方針などの諸問題について問うものです。平泉町では一人60分以内の制限時間で質問を行います。

●真 竈 光 幸 議員…P 10

- ① 新型コロナウイルス感染拡大防止による学校教育への影響
- ② 人口減少対策

●大 友 仁 子 議員…P 11

- ① 子育て支援
- ② 高齢者ドライバーの運転免許自主返納者への支援
- ③ 防災備蓄品

●氷 室 裕 史 議員…P 12

- ① 令和3年3月開通予定のスマートインターチェンジ並びに周辺整備の進捗状況、それに付随する当町南部の今後の展望

●阿 部 圭 二 議員…P 13

- ① 「新型コロナウイルス感染症」による町内への影響と対策
- ② 循環型社会形成のための中小零細企業支援政策

●稲 葉 正 議員…P 14

- ① 国立博物館の誘致
- ② 一般廃棄物のごみの分別と減量化

●猪 岡 須 夫 議員…P 15

- ① 次期総合計画策定
- ② 福祉行政
- ③ 交通弱者対策

●三 枚 山 光 裕 議員…P 16

- ① 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う影響への支援策
- ② 観光政策
- ③ 消防・防火対策の強化と、防火水利の拡充、「防火水利標識」の整備

●高 橋 伸 二 議員…P 17

- ① 第9期分別収集計画
- ② 「新たな食料・農業・農村基本計画」の閣議決定を踏まえた対応
- ③ 官民データ活用推進法を活かした行政サービス



※掲載している内容は、質問者自身が要約し広報委員が校正したものです。議会ホームページでご覧いただけます。

議案内容と審議結果

議会定例会6月会議（6月10日～17日）

議案番号	議案及び内容	関連ページ
条例の一部改正		
第29号	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例	6
第30号	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例（幼児教育の無償化に伴う利用者負担額の改正、家庭的保育事業者等に求められる特定教育・保育施設等の連携要件の緩和のための改正）	
第31号	後期高齢者医療に関する条例（新型コロナウイルス感染症に感染した被保険者の傷病手当申請受付の事務を追加するための改正）	
第32号	国民健康保険条例（新型コロナウイルス感染症に感染した被保険者に傷病手当を支給するための改正）	
契約、その他		
第33号	町道祇園線小金沢橋取付道路工事の請負契約締結（契約相手方：朝田建設株式会社、契約金額：7827万1600円）	
第34号	平泉スマートインターチェンジ駐車場整備工事（その2）の請負契約締結（契約相手方：朝田建設株式会社、契約金額：1億7678万4300円）	
第35号	財産の取得（消防ポンプ自動車）	6
報告		
第5号	継続費の繰越（社会教育施設整備費の通次繰越713万6800円）	
第6号	繰越明許費の繰越（平泉スマートインターチェンジ整備事業4455万3000円、町道祇園線整備事業1億464万円、土木施設災害復旧事業4210万円）	
令和2年度補正予算		
第36号	一般会計補正予算（第3号）（中小企業等経営継続支援給付金2000万円、社会教育施設704万円の追加などにより総額59億274万4千円とする）	4～5 7・8
第37号	国民健康保険特別会計補正予算（第1号）（傷病手当金の追加により、7億5150万8千円とする）	8
人事案件		
同意第3号～同意第9号	農業委員の任命同意 7名	7
請願審査		
1号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2021年度政府予算に係る意見書採択についての請願	8
議員発議		
発議第5号	安易な種苗法改正の撤回を求める意見書	8
発議第6号	「医療崩壊」を防ぐために必要な対策を求める意見書	8
発議第7号	総務教民常任委員会の調査事項	9
発議第8号	産業建設常任委員会の調査事項	9
発議第9号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2021年度政府予算に係る意見書	8

議会定例会5月会議（5月19日）

議案番号	議案及び内容	関連ページ
報告第1号	町税条例の一部改正（新型コロナウイルス感染症等にかかる①寄附金税額控除の特例の追加、②住宅借入金等特別税額控除の特例の追加のための改正）	
第28号	一般会計補正予算（第2号）（特別定額給付金7億4800万円、雇用対策助成金1165万円の追加）	4～5 8
発議第4号	新型コロナウイルス感染症対策特別委員会の設置（委員12人、委員長 高橋拓生、副委員長 氷室裕史）	2

賛否のあった議題

（賛成：○、反対×）

議員名	大友仁子	稲葉正	猪岡須夫	氷室裕史	阿部圭二	三枚山光裕	真竈光幸	高橋伸二	佐藤孝悟	千葉勝男	升沢博子	高橋拓生	賛成	反対	採決結果
議案															
発議第5号	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	—	9	2	可決
発議第6号	○	○	×	×	○	○	×	○	○	×	○	—	7	4	可決

※採決に議長は参加していません。 ※その他の議案は全員賛成で可決しています。

議長交際費を公表します

4月	0件	0円
5月	0件	0円
6月	1件	1500円（原水爆禁止国民平和行進協賛金）

議会定例会9月会議のお知らせ

9月8日(火)～17日(木) 開催予定

議会はどなたでも傍聴できます。

※本会議はインターネットで生中継しています。



総務教民常任委員会

国内の高齢化率は上昇の一途をたどり、当町においても多分に漏れず高齢者の割合は上昇しています。

交通弱者の足の確保、交通空白地帯の解消のため、高齢者支援対策について取り組みます。

調査項目 ● 高齢者支援対策



産業建設常任委員会



生活道路の改良、鳥獣被害などの課題に加えて、新型コロナ感染症による観光産業への打撃など、現状に即した調査を行い、町民生活の改善に努力します。

調査項目 ● 社会基盤整備
● 農業振興策
● 観光・産業振興策



真 筧 光 幸 議員

出産祝い金制度の創設を

答 経済が回復した段階で検討する

問 人口減少に歯止めをかけるためにも、子育て世代に産祝い金支給を。

町長 コロナウイルス感染症が収束し、経済状況が回復すれば定住化、子育て支援策として検討する。

問 平泉の年間出生数は40人弱になった。町の人口7000人台を死守するためにも産祝い金制度を早期実現すべきではないか。

まちづくり推進課長 子育て支援は重要だと考える。併せて働く場としての企業誘致、商業施設など若者の定住化の為の施策を次期総合戦略に盛り込んでいく。

問 育児休業給付金や多子世帯への経済支援策も検討すべきではないか。

町長 育児休業給付金は町独自としては考えていないが、国の制度として受給できる。多子世帯への支援は保育料免除や医療費助成など現行の支援策を継続していく。

問 出産を町として祝うと共に、その次のステージへの支援策として、小学校入学祝い品制度を創設し、ランドセルを支給すべきと提案する。

町長 小学校入学祝い品制度などの新たな支援策は検討していない。

問 ランドセルは、今非常に高額であり家庭間で経済的格差がつきやすい。子どもの負目、引け目など精神的な格差を生まないためにも、町として同じ規格のランドセルを支給すべきではないか。

まちづくり推進課長 具体的ないろいろな検討する部分がある。家庭の意向なども確認する必要性があり、現段階では検討していない。

その他の質問
・新型コロナウイルス感染症対策による学校教育の影響は



町の未来を担う子ども達が背負うランドセルを贈ろう

子どもを産めるのは、その子どもの母親だけですが、育てる環境づくりには全員が参加できます。子育てへの財政支援を手厚くする施策を打ち出すべきである。

議員のひとりごと

子育て支援策は

答 産前産後の不安軽減事業を継続

問 子育て支援は切れ目なく継続的に行っていく必要がある。これまでの子育て支援に無かったサービスに取り組み、更に子育てしやすい環境を目指すべきと考える。妊婦さんへの健診時、陣痛時等の交通手段の確保に対するタクシー代の補助の取り組みは。

町長 安心して妊娠出産を迎えられるよう支援していく事は、子育て支援のうえで

も重要だと考える。妊婦さんへの二一把握や県内の取り組み状況、タクシー業を営む方々の受け入れ体制や近隣市町村の状況について、情報収集しながら支援のあり方を検討する。

問 出産後、特に不足になり、子育てが辛いものになってしまいがちである。産後ケア事業の取り組みは。

町長 産後ケア事業の取り組みについては、平成30年度から実施しており、出生後2ヶ月を目安に行う乳児訪問と合わせ、産後うつ予防のための相談などを実施している。産前、産後を含めた不安軽減のた

めに、今後も事業継続に努める。

問 新型コロナウイルス感染症の影響で、日常生活に不安やストレスを抱える母親も少なくないと考える。母親たちの不安解消につながるきめ細やかな産後ケアが必要ではないか。

町長 きめ細やかな対応を実現するためには、子育てしている方々の状況を把握することが大事と考える。今後なお検討する。

運転免許自主返納者への支援は

答 現時点では考えていない

各地区で実施される交通安全教室での交通安全講話、反射材の普及活動、高齢者世帯訪問の交通事故防止県民運動の展開など警察署ほか、各交通安全全関係機関と連携し、高齢者の身体機能の変化に応じた交通指導を行っている。

高齢者の運転免許証の自主返納者への支援については、現在考えていない。

町民福祉課長 自家用車に代わる移動手段の確保について、支援策を含め、考慮する必要があると認識している。今後、検討したい。

その他の質問
・災害備蓄品（乳児用液体ミルクの備蓄）



タクシーの補助金で代替交通を

更なる、子育て支援と高齢者に優しい町づくりを!!

議員のひとりごと



大 友 仁 子 議員

産後ケア事業の取り組みについては、平成30年度から実施しており、出生後2ヶ月を目安に行う乳児訪問と合わせ、産後うつ予防のための相談などを実施している。産前、産後を含めた不安軽減のた



検診に...

妊婦さんに優しい社会へ

問 高齢者ドライバーの事故が社会問題化している。高齢者が生活に不自由を感じることなく、運転免許を自主返納するため代替交通手段の確保は。

町長 高齢者の交通安全対策として、



水室 裕史 議員

スマートインターチェンジの供用開始は予定通りか

答 全体工程の精査中である

問 新型コロナウイルス感染症の影響により、スマートインターチェンジの建設に遅れ等は出ていないか。

町長 緊急事態宣言による県境越え移動の自粛要請があり、作業員の確保に影響が出ている。お盆までに完了予定であった「迂回させた東北道を現道に復旧するための昼夜連続車線規制による工事」が未了の見通しとなっている。現在、建設の遅れの有無を含め、全体工程の精査を行っている。精査後の工程を把握次第、報告していく。

まちづくり推進課長 誘致に関する協議会のメンバーが11社であり、この11社は進出を目指す企業ではない。現段階で、進出を決めている企業はない。

問 スマートインターチェンジ周辺整備の進捗状況と新型コロナウイルス感染症による企業誘致への影響を伺う。

町長 昨年10月と今年の2月に周辺事業戦略協議会が開催され、事業戦略の状況報告等を受けている。しかし、新型コロナウイルス感染症



コロナの影響はスマートインターチェンジ関連の企業誘致にも

症の影響が大きく、企業環境が冷え込んでいるためプレセンテーションが行えていないのが現状である。

問 誘致される企業について様々な憶測が飛び交っている。現段階で興味を示している企業は何社程度か。

まちづくり推進課長 誘致に関する協議会のメンバーが11社であり、この11社は進出を目指す企業ではない。現段階で、進出を決めている企業はない。

問 東北自動車道より西側の今後の開発の予定等は。

まちづくり推進課長 現在、具体的な開発予定はないが、小金沢方面に山林7.6ヘクタール、原野7ヘクタールの町有地があり、今後はこれを活用していきたい。

問 スマートインターチェンジの供用開始に伴い、今後の平泉の南部の展望について、どう考えるか。

まちづくり推進課長 利便性が高まり、商業地、住宅地としての発展が期待される。工業団地への新規の立地も決まり、今後の町の原動力となると考えられるため、これからの10年間の町づくりについて新しい総合計画に位置付けていく。

問 今後、発展や開発に伴う不法投棄の増加など地域への弊害についてどのように考えるか。

まちづくり推進課長 町と地域とが両輪となり、地元との情報共有

を緊密にし、一体となって取り組んでいきたい。

スマートインターチェンジの経済効果を一過性のものとせず、広く長く町内に波及させつつも、やはり地元の声に耳を傾けることにも努めていただければと思います。

議員のひとりごと

県外の学生に食材を送る費用を

答 地元消費を考慮し検討

問 新型コロナウイルス感染症による繁殖牛や、肥育牛への影響は。

町長 4月の肥育牛、和牛子牛価格とも大幅に下落している。肥育農家、繁殖農家は、経営の維持すら危ぶまれており基準額以下での販売の補助は予算に計上している。

問 所得の少ない世代や学生への支援で生活保護基準の引き下げが必要ではないか。

教育長 引き下げは考えていないが、就学援助が必要とした場合、基準により対象としている。

問 県外で暮らす学生に地元の食材を送る費用を負担できないか。



誰もができる農業を

農林振興課長 繁殖農家の子牛1頭に3万円の補助であるが4半期ごとの市場の動きで町独自の支援を設ける。

農林振興課長 地元消費と意識しながら検討していきたい。

今後の太田川以南の展望は

答 スマートインターチェンジに伴い、町の原動力となる

経済対策は住宅リフォーム制度で

答 実態を確認しながら支援策を



町の未来は中小企業の活性化で

問 住宅リフォーム制度が今こそ必要ではないか。

町長 現在は事業者を対象とした店舗リフォーム促進支援事業補助金によって、経営継続や空き店舗を活用し幅広いニーズに活用して

問 リーマンショック以上の新型コロナウイルス禍に対しての経済対策としては、住宅リフォーム制度が一番効果があるのではないか。

観光商工課長 実態を確認しながら中小企業支援策を考えていきたい。

いる。新たな事業は総合的に判断して検討する。

問 固定化された業者だけでなく新たな業者で裾野を広げはどうか。

町長 顔の見える業者に安心して頼みたい。

問 地域経済活性化に小規模工事登録制度が必要ではないか。

町長 業務内容に精通している業者に受注機会を確保していく。

小規模工事登録制度によって新たな業者に自信をつけさせ、優良企業を生み出すことは、町の未来を作るのではないか。

議員のひとりごと



稲葉 正議員

国立博物館の誘致は

答 今後も誘致活動を継続していく

問 現在、国立博物館は東京、京都、奈良、福岡の4か所のみで、東北と北海道に設置されていない。文化庁は「地域的な在り方」を課題としているが、本町の見解は。



駅の歓迎塔等でPR活動を!

町長 文化庁からは国の財政事情や地域的な在り方などの問題があるとの回答であった。地域的な在り方とは、博物館の所在地ではなく、博物館のテーマ、コンセプトを問われているものと受け止めている。

問 直近の九州歴史博物館は、福岡県が誘致開始から38年かけて2005年10月に開館している。本町における実効性のある計画策定は。

町長 誘致活動は、平成3年から国県へ毎年要望している。

本町の議会でも県下58市町村を回り誘致地について協力要請を行い、つながりのある県や市町村にも誘致決議をもらい国へ陳情している。九州の太宰府の国立博物館も、岡倉天心の時代から百年かかっているという。

問 地域の機運を盛り上げるため、手始めとして、「国立博物館を東北の平泉へ」のような、横断幕や立て看板を平泉駅に掲げることについての考えはないか。

町長 そついった時期が来るように、町としても、県と一体となりながら、国に対しての要望は続けていく。

問 2016年の新平泉総合計画後期基本計画で掲げている5年で10%削減の今までの取組と啓発は。

町長 なるべくごみを排出しない、有価物の集団回収団体に対する助成金の交付や、役場庁舎、公民館等に小型家電の回収ボックスを設置するなどして、ごみの減量に取り組んでいる。行政区で希望があれば、リサイクル推進やごみの減量方法などの講習会を開催している。

問 1人当たりの排出量の直近5年の動向とその要因は。



町長 生活系のごみの排出量は、2019年で約1557トン、直近5年間の町民1人1日当たりの生活系ごみの排出量は、550グラム前後で横ばいとなっている。要因は、ごみの分別収集が定着し、分別の徹底は図られたが、減量化には家庭用ごみの減量化が必須である。

町長 生ごみを家庭から出る可燃ごみに係る減量案は。

町長 生活系のごみの排出量は、2019年で約1557トン、直近5年間の町民1人1日当たりの生活系ごみの排出量は、550グラム前後で横ばいとなっている。要因は、ごみの分別収集が定着し、分別の徹底は図られたが、減量化には家庭用ごみの減量化が必須である。

答 生ごみは約80%の水分を切って

一般廃棄物のごみの減量化は

問 コンポストを設置できない家庭に対する生ごみ処理機の設定助成の考えはあるか。

町民福祉課長 必要性的に検討する。

- 東京から西にだけ国立博物館が4つもあるのは、国の地域差別
- 生ごみを肥料にして利用、更に土に帰すことは究極のリサイクル(草や葉っぱも同様)

議員のひとりごと

福祉の現状をどう認識しているか

答 決して十分ではないと認識

問 コロナ禍の中、福祉の担い手やこれらの施設をどう支えていくのか。

町長 町及び県の備蓄品の提供や関係機関との連携を図りながら対応する。

町長 社会福祉協議会の役割には直接町民の声を聞き、相談に乗るなど、今後益々重要になると考える。町として支援を引き続き行い、住民福祉サービスの充実を進める。

町民福祉課長 経営基盤強化対策プロジェクトチームの中で検討する。

安価に病院への移送などを行っている。経費が倍以上という実態をどう捉えるか。

安価に病院への移送などを行っている。経費が倍以上という実態をどう捉えるか。

次期総合計画策定に意見の反映を

答 様々な機会を得た意見を反映させる

問 アンケートを説明無しで高齢者世代には数少なく配り、80歳以上は除外した。それも「地域懇談会をやったからいい」との弁である。また、設問の中に町での在任歴を聞く質問に「30年以上」との選択が無く選べないにもかかわらず集計には「30年以上住んでいる」とする数字を示しているが何故か。

町長 既に超高齢化社会の中にあると考える。さらに進む超高齢化社会、在宅高齢者への支援、地域で支える仕組みづくり、生活を左右する問題対処などへの予算配分をしっかりとしていく。

その他の質問
・交通弱者対策

議員のひとりごと
目の前は初めてづくし。が、何年も言われ続けた「足ねえんだ。なんとかしてけろ」17区、19区の「足」をなんとかしてけろ。お願いだ!



猪岡 須夫議員



福祉有償運送用車両 乗りやすい!

問 社会福祉協議会が運営上の資金不足に苦慮している。地域のセーフティネット機能としての役割維持確保の対策は。

町長 社会福祉協議会独自のサービスで

町長 アンケート配布対象者40代までの人が多い。人生の先輩方の経験、知見をどう考えているのか。

町長 地域懇談会で比較的年齢層の高い参加者から貴重な意見をいただいた。今回は

まちづくり推進課長 意図して多く配布したが「声なき声」にもしっかりと手を差し伸べ、計画に盛り込んでいくし、アンケートも反映させていく。「30年以上」が選択できなかったことについては「単純な落丁」である。大体内容から30年以上把握出来るので数字で示した。

議員のひとりごと



三枚山光裕 議員

問 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う影響への支援策について伺う。町内事業者に対して事業継続のために給付金を支給すべきではないか。

町長 中小企業等経営継続支援給付金として、30%以上の減少となった事業者に対して、一律10万円を支給する。事業活動を持続可能なものとし、新たな発展につなげてほしい。

問 家賃助成について対象の拡大と上乗せを町独自で行うべきではないか。

町長 地域企業経営支援事業（家賃補助）については、国の第2次補正予算案では、新たに家賃支援給付金が創設される見通しであり、事業活動に影響を受けている事業者の負担を軽減し、本格的な事業活動の再開を後押しするため、町として両制度の併給を



利用が大幅に減っている町営駐車場（毛越寺）

県に求めながら、国及び県の動向を注視しつつ町独自の支援を検討する。

問 町内での宿泊や飲食等に対して「宿泊応援割引」や「飲食応援割引」などを行って、町内での利用促進を図るべきではないか。

町長 停滞する経済状況を打破するために町内で経済を回すことが重要であり、今回の補正予算に計上の新型コロナウイルス対策プレミアム付飲食タクシー券事業の実施を予定している。

宿泊応援割引については、町外からの利用を促進するものであるため、時期を慎重に判断しながら実施を検討する。

問 大事なのはスピードである。戦後最大の危機という中で、財政調整基金をいつ

防火水利標識の点検、整備を

答 水利標識の整備に努める

使うのか。スピードとというのはもちろん大事である。また国からの第2次の内示金額は明示されていない。見極めながら、健全財政の維持にも配慮していく考えている。

問 今年には火災発生が多く、防火対策の強化と共に、消火栓、防火水槽の拡充が必要。また、消火栓や防火水槽の場所を示す防火水利標識の点検、整備について伺う。

町長 防火体制の一層の充実を図るために、引き続き消防団等と連携し、水利標識の整備に努めていく。

問 25か所の防火水槽を調査した。そのうち13か所が防火水利標識が白くなり見えない状況だ。駐車禁止という道路交通法上の問題もある。

総務課長 分団と情報共有をしながら、表示するようにしたい。



白い水利標識 地下水槽は特に課題がある

初めての「議案提案者」となった6月会議。なかなか「手間がかかる」ものだ。でも、議会事務局がいたから、提案、採決、可決までこぎつけた。事務局の「有難み」を実感した6月だったなあ。

議員のひとりごと



高橋 伸二 議員

問 第9期分別収集計画に伴う「集団回収事業」の課題は何か。

町長 地域の団体などが行う資源の回収に対する助成事業であるが、取組団体数、実施回数、回収量が減少傾向であり、回収を高める取り組みが課題となっている。

問 本年4月から始めた分別収集計画に合わせ、26年間見直しされていない「集団回収

集団回収事業要綱の見直しを

答 回収助成金額・品目を見直す



レジ袋をくわえて歩くクマ (知床財団提供)

取事業助成金交付要綱の見直しが必要ではないか。

町民福祉課 検討はしたが見直しには至っていない。

問 リサイクル資源の回収に取り組む意識、意欲の高揚のためにも助成金単価の見直しが必要ではないか。

町民福祉課 取組団体や回収量を増や

問 今日では地球規模でペットボトルやレジ袋が環境汚染問題となっている。ペットボトルも回収対象とする必要はないか。

町民福祉課 ペットボトルの需要が高まっていることから、回収品目に加え助成対象にすること検討する。

町民参加型の住民サービス導入を

答 ICTの先進事例を参考に研究を進める

割は住民ニーズを踏まえた地域課題の解決、住民サービスの向上、住民への普及啓発、小中学校のICT環境の整備などがある。町では、ごみ分別アプリ配信の取り組みが岩手県の計画事業として位置づけられている。

問 町民参加型の行政サービスの導入を可能とするデータ活用推進計画の策定は。

町長 現状は県の計画によるICTの活用を推進しているが、住民サービスを向上するツールとして拡大し、重要視されていくものと認識している。どのような活用が可能か、先進事例なども参考にしながら研究を進めたいと考えている。

問 昨年と今年、町道等の陥没に伴う3件の「損害賠償責任」を負う損傷事故が発生している。事故の原因、その事前把握と早期の原因

の除去や解消に手立てが必要になっている。先進事例を研究すると述べられたが、福井県鯖江市のデータ活用の推進は、行政のデータの提供に加えて、住民からもデータを送る双方向でのデータ活用により、例えば市民が道路陥没や補修が必要な箇所を撮影し、市役所のシステムに転送する。市役所はオープンデータとして公表し、必要性などを判断している。

このような市民参加の行政サービス先進事例も参考にすべきである。

新型コロナウイルス感染症による経済と生活への影響は、自粛の広がりの中で事業者、住民とも混乱と焦りを募らせている。規制と補償は一体でなければならない。

議員のひとりごと

※ ICT (情報通信技術) とは…さまざまな形状のコンピュータを使った情報処理や通信技術の総称。よく知られる言葉に「IT (情報技術)」があるが、ICTはITにコミュニケーションの要素を含めたもの。